

松尾小学校への出前講座（飯田市議会議員による出前交流授業）概要

1 目的

自治基本条例第23条に規定する開かれた議会運営に資するため、子どもの頃から行政や議会に関心を持ってもらう機会とする（「議会改革・運営ビジョン実現に向けた取り組み」の記載から）。

（参考）学校が設定したねらい

- (1) 社会科単元「私たちの願いをかなえる政治」の発展学習として、飯田市議会議員のみなさんのお話をお聞きし、飯田市議会のしくみや、議員の方々の仕事を知る。
- (2) 議員のみなさんと和やかに交流することで、卒業前の心に残る思い出を作る。

2 日時

- (1) 平成27年1月27日（火） 午前8時20分から午後1時10分まで
- (2) 平成27年1月28日（水） 午前8時40分から午後1時10分まで

3 場所 飯田市立松尾小学校

4 市議会側参加者

- (1) 正副議長
- (2) 広報広聴委員会委員 8人
- (3) 議会事務局職員 1人

5 学校側参加者

- (1) 対象児童 飯田市立松尾小学校6年生児童 4クラス130人
- (2) 松尾小学校 6年生担任教諭 4人
- (3) 松尾小学校教務主任

6 内容

- (1) 1日の日程
 - ア 出会いの会（初日のみ） 全員での顔合わせ
 - イ 1クラスでの講座及び交流
 - ウ 別の1クラスでの講座及び交流
 - エ 講座交流を行った2クラスとの交流給食
- (2) 講座及び交流授業の内容
 - ア 議長挨拶
 - イ 前半の講座（40分程度）
パワーポイントを用い、議員から市議会等について（議会の役割、議員の数、選挙の大切さ、本会議及び委員会について、飯田市のこと等）を説明。
 - ウ 後半（35分程度） 1クラスを5つのグループ分け、各グループに議員2人ずつが入り、自由に質問の受け答えを行う。
 - エ 副議長挨拶

7 学校側からの感想

- (1) 後日、小学校から貴重な学びができ、満足、感謝しているとの連絡とともに、児童の感想文の送付を受ける。
- (2) 児童の反応も概ね良好であった。

松尾小学校への出前講座の反省（委員の意見まとめ）

1 よかった点

- (1) 議会及び議員を理解してもらうことにつながった。
- (2) 議員でなければ伝わらない話ができ、よかったと思う。
- (3) 選挙の投票行動への啓発になればよいことだと思う。
- (4) 議会の広報活動として一つのよい実績となった。
- (5) 議員を子どもたちがどう見ているかを感じられるよい機会だった。
- (6) 子どもと親しく話ができ、子どものことも分かり、子どもにも分かってもらえることができ、一定の評価ができる。
- (7) グループでの自由な対話の結果、飯田に住みたい、帰って来たい、という子が増えたことがよかった。
- (8) 飯田に住みたいという意識の醸成につながったことがよかった。
- (9) 若者が飯田に帰ってくるきっかけが必要ということが分かった。
- (10) 委員全員が説明者として関わることができてよかった。
- (11) 教育現場における教師の声を聴くことができ、参考になった。
- (12) 議員として勉強になるよい機会だった。
- (13) 児童と打ち解けて話ができ非常によかった。
- (14) 議員としての夢が一つかなった。

2 改善すべき点、今後の課題等

- (1) 中高生に対するこういった取組をどう広げていくかが課題
- (2) 今回の取組を今後の議会の広報活動にどうつなげていくか、今後このような活動をどう行っていくか、検討する余地がある。
- (3) 「前向きに検討する。」と答えたことがしっかり感想に書かれている。発言には留意して行う必要がある。

3 その他感想

- (1) 児童にどういった話し方をすると理解してもらえるのか、プレゼンテーションの内容を考えるのが難しかった。
- (2) 児童にどのように話せばよいか心配したが、気楽に話げできた。

4 今後に向けて

- (1) 出された意見
 - ア 続けて行ってほしいし、ぜひとも続けるべきだ。
 - イ 開催には、議会としての日程調整が必要となるなど時期的な問題がある。要望があった時点で取り組む方向での調整が必要である。
- (2) 集約 次期以降も学校側から希望があれば取り組む方向としたい。